

えぐね

「えぐね」は、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林です。快適な住環境を形づくり、日本の原風景を代表する景観を生み出しています。本校が胆沢の地や人々にとってなくてはならない「えぐね」のような存在であり続けたいと願い、校報の名前にしています。〈学校HP [tps://isawachu.edumap.jp](https://isawachu.edumap.jp)〉

前期 生徒会総会



24日に行われました。執行部の提案をもとに、質疑や意見交換を踏まえて、方針や活動内容が決定となりました。今年度の生徒会スローガンは「つむぐ～胆沢中の絆～」です。

執行部計画には、誉め言葉のシャワー、デジタル目安箱、三人行事の運営、全校クラスマッチが示され、新しい取組を含めて全校生徒350人による生徒会活動が本格化しています。

授業参観・学年PTA

今年度1回目の授業参観を学年PTAと一緒にの形で実施しました。時間をとっていただいた上での参加に、感謝申し上げます。今後も子どもたちの様子を見ていただく機会を増やしていきたいと思っています。

PTA総会は書面開催となっています。用紙提出による議決への協力をお願いします。

胆沢プライド体育祭

26日に結団式を行い、3年生のリーダーを中心とした準備が始まっています。今年の体育祭は5月13日（土）午前開催です。

当日は、ぜひ子どもたちが活躍する様子をご覧いただきたいと思います。

3学年そろっての部活動

25日の部集会（1年生の正式入部）を経て、3つの学年がそろった活動が始まりました。意欲をもって、自分自身の成長につながる練習や取組を進めてほしいと思います。学校全

体で各部の活動を応援していきます。

また、放課後に学校部活動以外の取組を優先する生徒（入部を選択しない生徒）は、全校で40名です。こちらもそれぞれの場で、力を発揮してほしいと願っています。

振り返りの大切さ

胆沢中では、学校生活で見通しをもった行動をとれるようにするために、振り返りを大切にする取組を続けています。

ノート型手帳（フォーサイト）の活用もそのひとつです。予定をもとに、自主的に行動するためのノート記入を続けています。毎日、自分自身の振り返りを書くことを通じて、中学生として必要な力（数値にあらわれない力・すべての基盤）づくりをめざしています。また、記述を通じた学級担任とのやり取りの中で、つながりの構築にも役立てています。

タブレット端末の利活用

今年度胆沢中は、市教委からICT教育実践校の指定を受けています。これからタブレット端末（クロームブック）の家庭への持ち帰り、日常生活・生徒会活動での利活用、授業での使用に本格的に取り組めます。

すでに、今年度も校内での使用は続いています。持ち帰りについては準備ができ次第、開

始します。さらに、市の取組で各端末にAI型学習教材（ドリル問題）の導入も決まっており、様々な利用方法を組み合わせて子どもたちの学びにつなげたいと思っています。

交通安全・ネット安全

明日から5月の連休期間です。安全な生活を送ってほしいと願っています。特に、ルールを守った自転車利用、SNS利用に伴うインターネット関連の安全については、繰り返し話しています。ご家庭でも目を離さない形で、安全な利用について、声かけをお願いします。

高1調査⑫「学習塾」

塾・家庭教師・通信教育を利用しているか

学習塾	24. 2%
家庭教師	2. 1%
通信教育	10. 3%（添削や教材利用）
利用していない	62. 5%

利用目的は何か

学校の勉強の補助や補習のため	57. 5%
受験や進学のため	32. 3%

塾・家庭教師の週利用日数は1～2日が最多で、7～8割となっていました。通信教育も含め、目的と費用・時間を検討した上での結果だと思います。今は、個別指導、映像視聴やリモート等、多様な手段も提示されており、自分に必要な学びであれば、学習方法に加えることもよいと思います。